

校長のひとりごと4

「心に移りゆくよしなし事をそこはかとなく書き作れば…」

校長の内田です。5月の下旬はめちゃめちゃ暑かったですね。連日30

度を超える日々。特に5月26日（日）には北海道・サロマで 39.5度、

帯広でも 38.8度。この時期の気温だとは思えません。あまりに暑いので



5月の最高気温を調べたところ、1位から 18位までが令和元年5月26日の北海道、同じ 18

位に 1993年5月13日に秩父で 37.2度。それを見ただけで今回の最高気温が異常だった

ことがよくわかります。なんだかここ数年春と秋が少なくなっているような気がしてなりま

せん。そう思っているのは私だけ？日本の素晴らしい四季はどうなってしまったのでしょうか？

桜や紅葉が見られなくなってしまうのでしょうか？

ねっちゅうしょう
熱中症



本来は7月、8月に多くなる熱中症。今年はまだ5月だというのにすでに多くの人が緊

急搬送され、ニュースで熱中症のことを聞かない日はないくらいです。消防庁の

熱中症の統計によると、5月～9月、5ヶ月間の全国での死亡数は平成29年度が 48名、

平成30年度には 160名にのぼっています。

なぜ熱中症が多くなってきたのでしょうか。以前から日射病とか、熱射病と呼ばれて、

それなりにはありましたが、今みたいには多くはなかったように思うのですが。気温が高く

なったことももちろんですが、エアコンが効いた部屋の中にいることが多いので暑さに慣れ

てないなどの関係もあると思います。私の子どものころはエアコンなんてなかったし、夏は扇風機・うちわが当たり前。夏でも外で汗をかきながら走り回ってたような気がします。

もちろん夜も汗をかきながら寝ていました。環境が良くなって人間だんだん弱くなってきたのでしょうか？

先日、避難訓練がありました。火災が発生したという設定で、グラウンドに避難。その後、消防署の指導で消火訓練の予定でした。その日の予想最高気温は32度。天気も良く、太陽

燦々。そんな中で1時間もやられているのか…。検討した結果、生徒の安全面を考え、

体育館で行うこととしました。これからも天候の関係で急な変更もあり得ると思っています。生徒たちの大事な命を預かっているので判断の間違いは許されません。気を引き締めて判断をしていきたいと思っています。

避難訓練では集合が目標の制限時間より少しかかりましたが、とても粛々と行動をしていたので、消防署の方からお褒めの言葉をいただきました。さすが橋高生です。

あれ？スル~~~~



時間ができたときは、部活動を見ようと思っています。私の専門はソフトテニスです。中学校から大学、教員になってから自分の学校や県の強化委員、国体少年男子のコーチとしてずっと生徒たちを見ていました。

管理職になってからその学校にソフトテニスがなかったこともあり、7年近く離れていたのですが、5月25日(土)にPTA運営委員会の前に少し練習を見ようと本格的にテニスウ

エアに着替えてテニスコート方面に歩きながら何人かの橋高生に

挨拶をすると怪訝そうな顔をして、挨拶が返ってきて…「え

っ?! なんで??」その後体育科の K 先生にも挨拶したのに

「学校にうろうろしているこの人は誰だ?」的な感じで見られ、

さらに地歴公民科の K 先生には真横にいたにも関わらず、完全スルーされ…生徒は仕方ない

としても、先生まで (涙)

こちらから「無視しないでよ。」と K 先生に笑いながら声をかけたら、ワンテンポおいて

驚き顔で、「あっ、校長先生! 全然気が付きませんでした。」と。意外と顔は見ないで、服装

とかで判断しているんだということがよ~くわかりました。(笑)



さて、もうすぐ体育祭です。生徒は放課後やお昼休みを使っ

て準備に余念がありません。お天気になるといいなあ。ほどほ

どに。暑すぎはダメです。多くの保護者のみなさまにも見ていた

だきたいです。体育祭をとて楽しみにしている今日この頃です。